

**JASDAQ****平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）**平成24年11月13日
上場取引所 大

上場会社名 株式会社 大谷工業
 コード番号 5939 URL http://www.otanikogyo.com
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 芝崎 安宏
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理グループマネージャー (氏名) 阿部 昇 TEL 03-3494-3731
 四半期報告書提出予定日 平成24年11月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第2四半期の業績（平成24年4月1日～平成24年9月30日）

(1) 経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	2,876	14.8	221	74.1	247	57.7	81	△0.3
24年3月期第2四半期	2,506	3.5	127	△3.8	156	2.7	81	5.2

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	9.26	—
24年3月期第2四半期	9.29	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第2四半期	4,344	1,682	38.7
24年3月期	4,132	1,622	39.3

(参考) 自己資本 25年3月期第2四半期 1,682百万円 24年3月期 1,622百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	0.00	—	2.50	2.50
25年3月期	—	0.00	—	—	—
25年3月期（予想）	—	—	—	2.50	2.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の業績予想（平成24年4月1日～平成25年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,600	7.2	360	23.3	390	16.1	200	11.5	22.74

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 有

④ 修正再表示 : 無

(注) 第1四半期より減価償却方法の変更を行っており、「会計方針の変更を会計上の見積りの変更と区別することが困難な場合」に該当しております。詳細は、添付資料P.3「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項」

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示をご覧ください。

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

25年3月期2Q	8,800,000株	24年3月期	8,800,000株
----------	------------	--------	------------

② 期末自己株式数

25年3月期2Q	5,608株	24年3月期	5,608株
----------	--------	--------	--------

③ 期中平均株式数（四半期累計）

25年3月期2Q	8,794,392株	24年3月期2Q	8,794,392株
----------	------------	----------	------------

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.2「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	2
(3) 業績予想に関する定性的情報	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第2四半期累計期間	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 継続企業の前提に関する注記	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
(6) セグメント情報等	8
5. 補足情報	9
(1) 生産、受注及び販売の状況	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第2四半期累計期間におけるわが国の経済は、震災復興需要等を背景として緩やかに回復しつつあるものの、欧州政府債務危機による海外景気の下振れ懸念や円の高止まり、デフレの長期化に加えて、アジア諸国との軋轢が懸念される等、先行き不透明な状況の中で推移しました。雇用情勢につきましても改善の動きは見られるものの、依然として厳しい状況が続いております。

当社はこのような状況の中、各事業で拡販に努めた結果当第2四半期累計期間の売上高は2,876百万円と前年同四半期比370百万円(14.8%)の増加となりました。

利益面につきましては、売上総利益が678百万円と前年同四半期比133百万円(24.4%)の増加、営業利益は221百万円と前年同四半期比94百万円(74.1%)の増加、経常利益は247百万円と前年同四半期比90百万円(57.7%)の増加となり、特別損失として厚生年金基金脱退損失引当金繰入額150百万円を計上しましたが、四半期純利益は81百万円と前年同四半期とほぼ同額となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

① 電力通信部門

電力通信部門においては、売上高・利益ともに増加しました。

その要因として架線金物では、先送りされていたコンクリートポールの建替え工事等が進んだことにより好調に推移しました。また、通信業界においては、通信網拡大のための光ケーブル敷設工事が好調に推移し、売上高・利益ともに増加しました。

一方、鉄塔・鉄構については、電力向け大型鉄塔の建替え工事等が堅調に推移したことにより、売上高・利益ともに増加しました。

この結果、売上高は2,292百万円と前年同四半期比300百万円(15.1%)の増加、セグメント利益は367百万円と前年同四半期比95百万円(34.9%)の増加となりました。

② 建材部門

建材部門においては、震災復興需要により設備投資に回復の動きが見られました。こうした中、当社においても首都圏を中心に大型物件の施工が進んだことにより売上高・利益ともに増加しました。

この結果、売上高は584百万円と前年同四半期比69百万円(13.5%)の増加となり、セグメント利益は25百万円と前年同四半期比6百万円(36.7%)の増加となりました。

(2) 財政状態に関する定性的情報

(総資産)

総資産は、前事業年度末に比べ211百万円増加し4,344百万円となりました。これは、主に売上債権75百万円、繰延税金資産63百万円、在庫25百万円、有形及び無形固定資産12百万円の増加等によるものです。

(負債)

負債は、前事業年度末に比べ151百万円増加し2,661百万円となりました。これは、主に仕入債務176百万円、厚生年金基金脱退損失引当金150百万円、未払法人税等26百万円の増加と、短期借入金200百万円の減少によるものです。なお、当四半期会計期間末において借入金は300百万円となっております。

(純資産)

純資産は、前事業年度末に比べ60百万円増加し1,682百万円となりました。これは、主に四半期純利益を81百万円計上したことによる増加と、配当金支払による減少21百万円によるものです。この結果、有利子負債比率(D/Eレシオ)は0.2倍と良好な水準にあります。

(3) 業績予想に関する定性的情報

平成25年3月期の業績予想につきましては、平成24年10月16日に発表しました業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

当社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

なお、この変更による損益への影響は軽微であります。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位:千円)

	前事業年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成24年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	512,000	552,826
受取手形及び売掛金	1,366,605	1,442,365
商品及び製品	399,432	430,491
仕掛品	397,617	372,658
原材料及び貯蔵品	129,216	148,896
繰延税金資産	63,943	123,721
その他	13,376	17,116
貸倒引当金	—	△1,619
流動資産合計	2,882,191	3,086,457
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	184,354	185,291
機械及び装置(純額)	276,808	271,265
土地	498,685	498,685
リース資産(純額)	28,108	19,341
その他(純額)	50,342	57,099
有形固定資産合計	1,038,298	1,031,683
無形固定資産	37,476	56,694
投資その他の資産		
投資有価証券	78,256	71,325
その他	109,366	111,864
貸倒引当金	△13,085	△13,811
投資その他の資産合計	174,537	169,378
固定資産合計	1,250,313	1,257,756
資産合計	4,132,504	4,344,214

(単位：千円)

	前事業年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成24年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,059,340	1,235,645
短期借入金	500,000	300,000
未払法人税等	64,919	91,358
厚生年金基金脱退損失引当金	—	150,000
設備関係未払金	32,248	47,077
未払費用	210,482	207,095
その他	73,531	103,210
流動負債合計	1,940,523	2,134,386
固定負債		
退職給付引当金	453,458	439,983
役員退職慰労引当金	64,880	47,076
リース債務	10,782	2,283
その他	40,783	38,176
固定負債合計	569,904	527,520
負債合計	2,510,427	2,661,906
純資産の部		
株主資本		
資本金	655,200	655,200
資本剰余金	221,972	221,972
利益剰余金	746,346	805,808
自己株式	△1,045	△1,045
株主資本合計	1,622,472	1,681,934
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△394	373
評価・換算差額等合計	△394	373
純資産合計	1,622,077	1,682,307
負債純資産合計	4,132,504	4,344,214

(2) 四半期損益計算書
(第2四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
売上高	2,506,258	2,876,752
売上原価	1,960,887	2,198,040
売上総利益	545,371	678,712
販売費及び一般管理費	418,316	457,522
営業利益	127,054	221,189
営業外収益		
受取利息	168	156
受取配当金	2,120	2,066
作業くず売却益	21,751	16,349
不動産賃貸料	3,900	3,900
雑収入	7,663	7,018
営業外収益合計	35,603	29,491
営業外費用		
支払利息	5,300	3,278
雑損失	485	10
営業外費用合計	5,785	3,289
経常利益	156,873	247,392
特別利益		
投資有価証券売却益	—	2,696
退職給付引当金戻入額	—	559
役員退職慰労引当金戻入額	—	14,902
特別利益合計	—	18,157
特別損失		
固定資産除売却損	764	2,343
投資有価証券評価損	9,880	7,959
投資有価証券売却損	1,908	42
厚生年金基金脱退損失引当金繰入額	—	150,000
特別損失合計	12,553	160,346
税引前四半期純利益	144,320	105,202
法人税、住民税及び事業税	51,613	87,110
法人税等調整額	11,023	△63,355
法人税等合計	62,637	23,755
四半期純利益	81,683	81,447

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	144,320	105,202
減価償却費	71,027	70,463
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△1,870	2,345
退職給付引当金の増減額(△は減少)	8,965	△13,474
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	3,024	△17,804
厚生年金基金脱退損失引当金の増減額(△は減少)	—	150,000
受取利息及び受取配当金	△2,288	△2,223
支払利息	5,300	3,278
有形固定資産除売却損益(△は益)	764	2,343
投資有価証券評価損益(△は益)	9,880	7,959
投資有価証券売却損益(△は益)	1,908	△2,653
売上債権の増減額(△は増加)	168,842	△75,759
たな卸資産の増減額(△は増加)	△193,404	△25,780
仕入債務の増減額(△は減少)	△122,009	176,304
その他	△53,318	8,254
小計	41,142	388,458
利息及び配当金の受取額	2,289	2,224
利息の支払額	△5,357	△2,984
法人税等の支払額	△99,797	△61,337
営業活動によるキャッシュ・フロー	△61,722	326,360
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形及び無形固定資産の取得による支出	△113,878	△59,372
投資有価証券の取得による支出	△1,884	△642
投資有価証券の売却による収入	9,710	3,264
出資金の回収による収入	—	100
貸付けによる支出	—	△1,532
貸付金の回収による収入	1,080	3,317
投資活動によるキャッシュ・フロー	△104,972	△54,866
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	—	△200,000
配当金の支払額	△26,038	△21,870
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△9,518	△8,797
財務活動によるキャッシュ・フロー	△35,557	△230,667
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△202,252	40,826
現金及び現金同等物の期首残高	660,724	512,000
現金及び現金同等物の四半期末残高	458,472	552,826

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) セグメント情報等

(セグメント情報)

I 前第2四半期累計期間(自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	電力通信部門	建材部門	合計
売上高			
外部顧客への売上高	1,991,268	514,990	2,506,258
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—
計	1,991,268	514,990	2,506,258
セグメント利益	272,678	18,294	290,972

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	290,972
セグメント間取引消去	—
全社費用(注)	△163,917
四半期損益計算書の営業利益	127,054

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

II 当第2四半期累計期間(自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	電力通信部門	建材部門	合計
売上高			
外部顧客への売上高	2,292,041	584,711	2,876,752
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—
計	2,292,041	584,711	2,876,752
セグメント利益	367,762	25,009	392,772

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	392,772
セグメント間取引消去	—
全社費用(注)	△171,582
四半期損益計算書の営業利益	221,189

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

5. 補足情報

(1) セグメント及び品目別売上高明細、受注高及び受注残高

セグメント及び品目別売上高

(単位：千円)

セグメント及び品目	当第2四半期累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	前第2四半期累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	増 減		
			金 額	率 (%)	
電力通信部門	架線金物	1,565,679	1,512,456	53,222	3.5
	鉄塔・鉄構	700,294	465,954	234,339	50.3
	その他	26,067	12,857	13,210	102.7
	計	2,292,041	1,991,268	300,772	15.1
建材部門	スタッド	580,043	514,990	65,053	12.6
	その他	4,667	—	4,667	—
	計	584,711	514,990	69,721	13.5
合 計	2,876,752	2,506,258	370,494	14.8	

セグメント及び品目別受注高

(単位：千円)

セグメント及び品目	当第2四半期累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	前第2四半期累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	
			電力通信部門
	鉄塔・鉄構	801,366	681,530
	その他	29,782	16,603
	計	2,439,178	2,194,968
建材部門	スタッド	504,256	483,504
	その他	4,667	—
	計	508,924	483,504
合 計	2,948,102	2,678,473	

(注) 金額は販売予定価格によっており、消費税等は含んでおりません。

セグメント及び品目別受注残高

(単位：千円)

セグメント及び品目	当第2四半期会計期間末 (平成24年9月30日現在)	前第2四半期会計期間末 (平成23年9月30日現在)	
			電力通信部門
	鉄塔・鉄構	573,492	385,855
	その他	5,044	3,746
	計	768,168	538,390
建材部門	スタッド	325,733	482,304
	その他	—	—
	計	325,733	482,304
合 計	1,093,902	1,020,694	

(注) 金額は販売予定価格によっており、消費税等は含んでおりません。